



# ふれあい 放水路

1998  
(平成10年)  
第56号  
11月



## 神戸川に棲む生きものたち モクズガニ

モクズガニは、甲幅が約六センチで暗褐色をしており、はさみには手袋をしているかのように軟らかい毛が密生しています。その姿から「毛ガニ」とも呼ばれ、食用として好まれていきます。

カエルやミミズなど動物性のものを食べ、ふか孵化してから四、五年で成長します。成長すると夏の終わりから秋にかけて河口へ下って交尾をし、メスは海へ出て産卵をします。サケやアユなどは産卵を終えるとその一生を終えますが、モクズガニは再び川をさかのぼるといふことです。

七月半ばから十月末の漁解禁の期間、神戸川では河口へ向かうカニをねらってカニ漁が行われます。現在、神戸川で捕れたカニは主に九州へ出荷されていますが、昔、九州では炭坑夫を夫にもつ妻が、カニは土をかぶつてもはい出てくることから、万が一炭坑が崩れても、そこから出て戻って来るよつにという願いを込め、夫にカニを食べさせた、という話があるそうです。

# ふれあい放水路 通信



## 街に緑と潤いを 緑化推進記念植樹祭

建設省では十月を「都市緑化月間」と定め、緑地を保全し、緑豊かなまちづくりを推進するための活動を行っています。十月二十一日には、出雲市が昨年度から行っている「緑化推進記念植樹祭」と合わせ、出雲市浜町の出雲文化伝承館西側の公園で記念植樹をしました。

当日は出雲市長をはじめ、地元代表の方々など関係者の出席のもと、近くの浜山保育園の子供たちとともに、放水路工事施工業者でつくる「斐伊川放水路安全協議会」が提供した桜（ソメイヨシノ）二十本が植えられました。

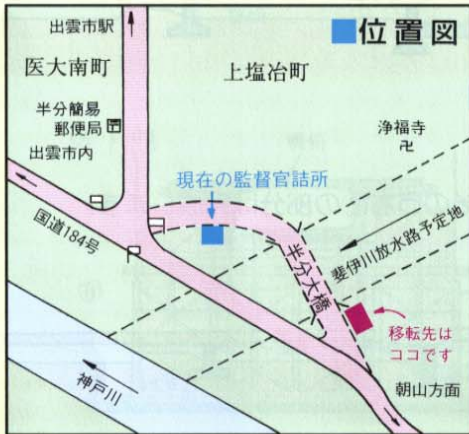
地元の方だけでなく、文化伝承館を訪れる観光客など、多くの方々の目にとまるこの公園に、来年の春、桜が咲くのが楽しみです。

## 新しい監督官詰所を建設中です

現在、出雲市医大南町一丁目にある建設省現場監督官詰所を移転します。今の詰所は平成六年十二月に設置し、工事監督などの業務を行ってきましたが、現在の場所では放水路工事の支障となるため、出雲市上塩冶町半分の放水路開削部と神戸川が合流する付近に移転することになりました。

新しい監督官詰所はプレハブ二階建てで、二階部分は事務室としてこれまで通りの業務を行い、一階部分は、放水路事業の計画や工事の状況などの説明を行う広報室として、説明パネルの展示のほか、映像による事業紹介なども行えるようにする予定です。

現地では、平成十一年三月の建物完成を目指して建設工事が進んでいます。



国道184号を朝山方面へ向かって行き、半分大橋工事現場を過ぎた左側の一段高いところが監督官詰所の移転場所です。

## 広報室の愛称募集

新しい監督官詰所にてできる広報室の愛称を募集します。採用された方には記念品を進呈いたします。

〆切り：平成11年1月末日

宛 先：〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1

建設省出雲工事事務所

「ふれあい放水路担当」まで



## 斐伊川放水路の工事実施状況



(平成10年10月以降の発注工事)

工事名	業者名	工期
斐伊川放水路上流部 用地管理その2工事	(株) 谷本組	自 H10年10月16日 至 H10年12月25日
斐伊川放水路 B谷濁水処理設備工事	(株) 鶴見製作所	自 H10年11月6日 至 H11年3月31日

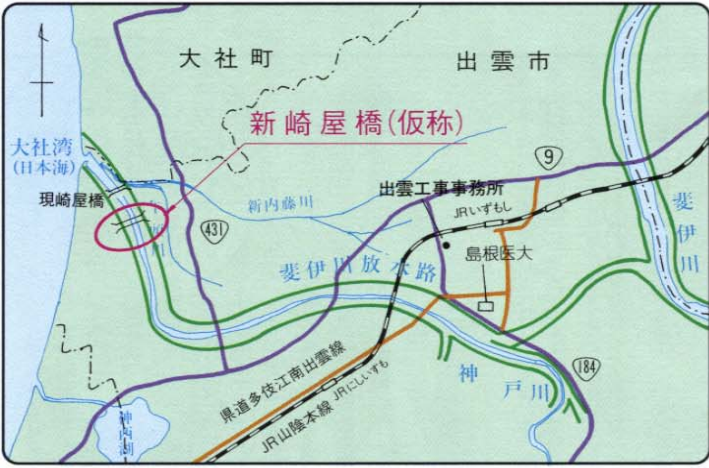
## 建設省中国地方建設局 出雲工事事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地  
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当

放水路工事室 建設専門官



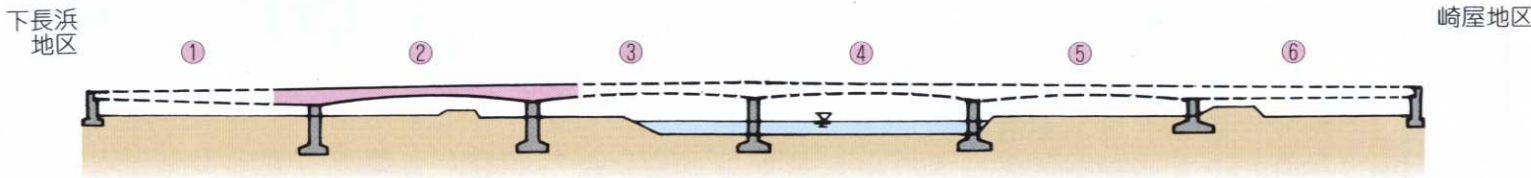
# 新しい崎屋橋の上部工に着手します

神戸川下流地区の幹線道路の中心となる新しい崎屋橋の工事を平成7年度から行っています。今年度までに橋台と橋脚が全て完成し、引き続き上部の工事に入ります。平成13年3月には車道2車線で歩道付きの橋が完成する予定です。

■ … 工事中    ■ … 完成    □ … 未着工

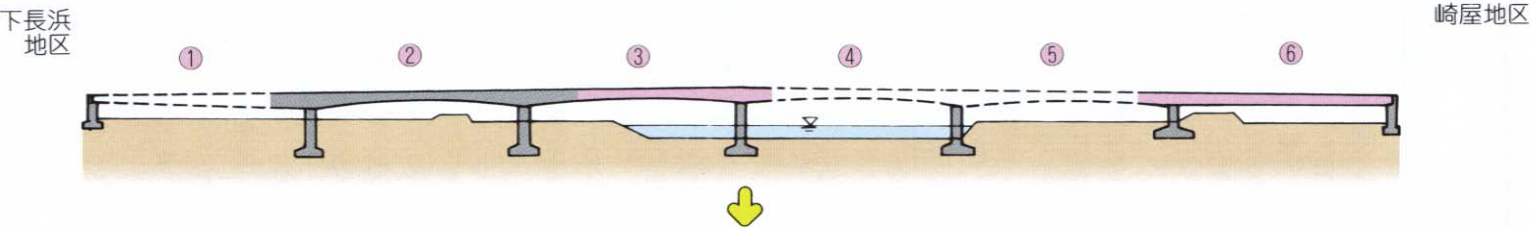
## 平成10年 冬頃の予想図

本格的な工事の開始です。初めに②の部分をかけます。



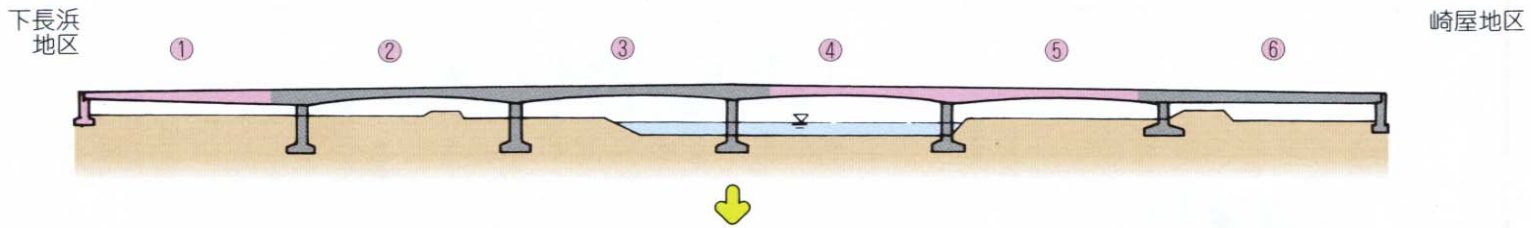
## 平成11年 春頃の予想図

約半分を春までに施工します。そのうち②の部分は完成します。



## 平成11年 秋頃の予想図

残るのは①④⑤です。あともう一息で完成です。



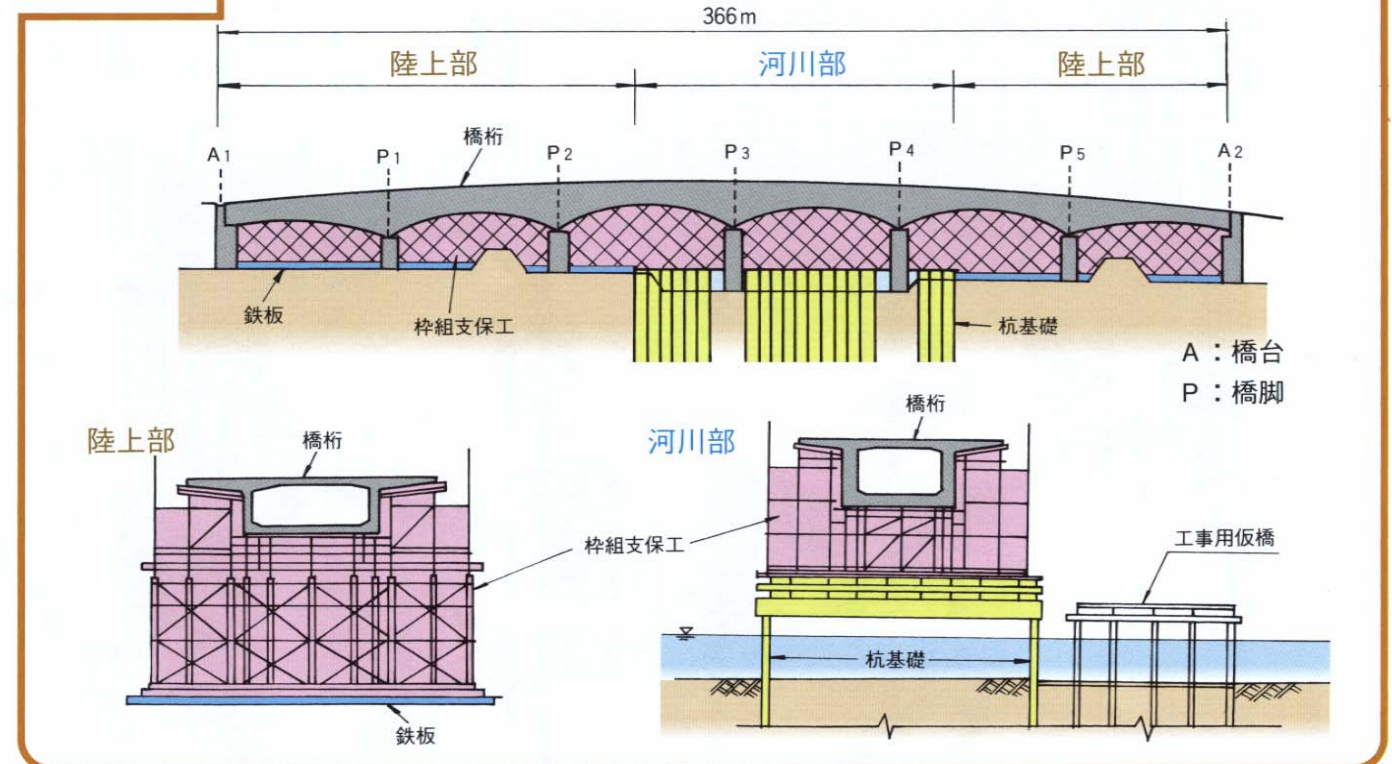
## 平成12年末頃 橋桁の完成時予想図



このあと高欄、舗装、照明などの工事を行って、崎屋橋が完成します。

## 橋はどうやってかけるの？

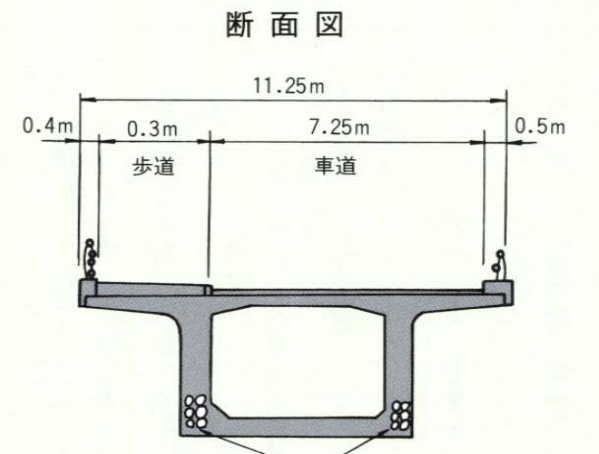
今回は、コンクリートが固まるまで鉄パイプでやぐらを組み、下から支えておく方法(桝組支保工)を採用しています。陸上では鉄板などを敷いた上に、川の中では杭を打った上に桝組支保工を設置します。



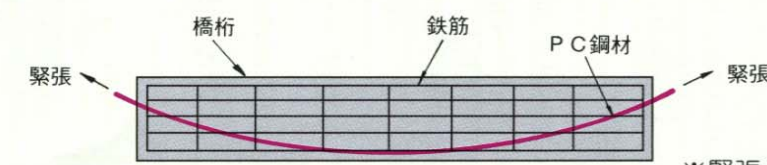
## 崎屋橋の桁はP C橋(Prestressed Concrete)でつくります

コンクリートを打った後に、事前に埋め込んでいたP C鋼材(ピアノ線を集めたものや鉄棒など)を強く引っ張り、上に載る荷重を支えるようにした橋のことをプレストレストコンクリート橋(PC橋)といいます。

大きな構造物をつくる時はコンクリートの中に鉄筋を入れますが、P C鋼材も入れることによりコンクリート(圧縮に対して耐えることが得意)と鉄(引っ張る力に対して耐えることが得意)の双方の長所をより活かすことができるので、少ないコンクリートで丈夫な橋ができます。



P C鋼材はこの部分にはっています。



※緊張とはP C鋼材を強く引っ張ることです。